



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。長引くコロナ禍であっても子どもたちは生き生きと活動していますので、今月号も町民とのかかわりを中心に、子どもたちの様子をお伝えいたします。

## しみず保育所

### おいしかったトウモロコシ♪

9月3日（金）に梶山農場さんよりトウモロコシを頂きました!!

コンテナにたくさん入ったトウモロコシを見てビックリ！子ども達は、とっても目をキラキラさせて手に取っていましたよ♪

一人2本ずつ頂き、家庭に持ち帰りました。茹でて食べた子が多く、「甘くておいしかった～♪」と口々に言っていました。

給食でも十勝清水町産のブロッコリーやじゃがいも等を定期的を使用しており、地元の旬の野菜を味わっています。

やはり地元産の採れたての野菜は、新鮮でとてもおいしいですね♪



# 御影こども園

## 実りと収穫の秋

春から年長組が作っているひまわり農園。

枝豆、ミニトマト、かぼちゃ、とうもろこし、などいろいろな野菜が育ちました。土の中を掘ってみると・・・たくさんのおいもが出てきました。

「面白いかたち見つけた!」「大きいのを見つけた!」など嬉しそうに友だち同士でおいもを見せ合っていました。

地域の方のりんご畑に少しお邪魔。りんごを採る経験をさせていただきました。真っ赤なりんごに大満足の子どもたちでした。



# 清水幼稚園

## 不審者遭遇防犯教室と避難訓練



新得警察署の防犯課のお巡りさんをお招きして防犯教室を8月24日(火)行いました。

不審者が現れた時の注意や逃げ方を警察の方からお話を聞き「いかのおすし」を確認しました。そして、「いかのおすし」をばら組の園児と実際の場面を想定してロールプレイングしました。

「道がわからないので一緒に来て教えて」と言われても絶対についていかないで大声で素早く逃げる例、知らない人が写真を撮り始めたら素早くその場から

離れる例などわかりやすい実演を交えながら説明してくれました。その演技を全園児がドキドキしながら真剣に見ていました。最後に「助けてー」と大声で言うのは難しいものです。だから、防犯ブザーを持っていることが大切なことなどを教えてくれました。新得警察のお巡りさん、ありがとうございました。



また、9月7日、8日、園外活動で不審者に遭遇するという設定で、不審者対応訓練をクラス毎で行いました。訓練は学童の先生方のご協力を得て、不審者役、避難先の人役、通報役などをやっていただきました。不審者役の先生が迫真の演技で近づいてきて、園児たちは本当に怖かったと口々に言っていました。大声を出して逃げて、泣かなかったと教えてくれました。学童の先生方、ご協力ありがとうございました。

この2回の訓練を通して、園児は、不審者に遭遇した時に「いかのおすし」の行動をするということは分かったと思います。しかし、この訓練が実際に役立つことのない安心安全な街になってほしいと願うばかりです。

※「いかのおすし」とは誘拐などから子供自身が身を守るための行動をまとめた標語で、知らない人についていかない、他人の車にのらない、知らない人に連れていかれそうになったらおお声を出す、声をかけられたり追いかけられたりしたらすく逃げる、何かあったらすぐ大人にしらせる、の一部をつなげたもの。

## 清水小学校

### 2年以上待った運動会

9月16日(木)、清水小学校の運動会が、これ以上望めないほど上々の天気の下、万全の感染対策をしいて開催されました。コロナのせいで去年は実施できず、今年も6月に行う予定だったものが延期となり、3ヶ月以上も待ちわびた運動会でしたが、緊急事態宣言下ということもあり、低、中、高のブロック別で、各家庭1名のみのお観覧という少しさみしい形となってしまいました。けれども、久しぶりに子どもたちが走ったり、踊ったり、力を合わせて競技したりする元気な姿を、ご家族の皆さんにお見せすることができ、ほっといたしました。

これまでとはちがう形の運動会になりましたが、各ご家庭のご協力と役員の方によるお手伝いのおかげで安全・安心な運動会を開催することができました。関係者の皆さんに、心から感謝です。

【2年生の絵日記から】

うんどう会がはじまったとき、いっばいきんちょうしてました。60メートルそうで自分のばんがきたとき、さいしょ「よーい」のときふえがなっていないのに、まちがってはしりそうになりました。2回めではしれました。はして1位をとれて、うれしかったです。



## 御影小学校

### とても勉強になった防災教室！

9月2日（木）に防災教室が行われました。清水町役場の防災担当である山田総務課参事が来校し、5年前の台風による風水害の被害や状況や清水町の備蓄について話をして頂きました。「風水害の被害や状況」は、土砂崩れや河川の増水、道路や橋の倒壊について、当時の写真や被害数をもとにした、インパクトある説明が続き、子ども達は驚きの連続でした。

説明が終わり、「ちょっと難しかったね。質問があったら受けますよ。」との声

かけをすると、最初の一人が挙手！「災害の時、犬や猫はどうするのですか？」という質問。「とても大切な質問だね。犬も猫も一緒に避難してきていいです。盲導犬って知っていますか。盲導犬がいないと生活ができない人もいます。人と同じですよ。」と答えてもらい一安心。その後も、「台風で十勝川は氾濫しなかったのですか？」、「御影小学校の体育館には何人くらい避難できるんですか」、「御影地区には洪水がくることはありませんか？」など積極的に質問していた4年生。

6時間目は、災害時の生活の仕方について学びました。非常食をみせてもらうと、給食を食べた後なのにも関わらず（笑）「おいしいそう！食べたい」と食いつく子ども達。

次は、5つのグループに分かれて段ボールベットや非常時用のテント作り。自分達で声を掛け合いながら取り組む姿は頼もしかったです。完成した後は、まるで自分の家のようにしゃぐ子ども達でした。

災害時は暗くなるもの。そんな時、子ども達の明るさや頼もしさが大人に勇気を与えてくれるのかもしれない。座学で学ぶことができない貴重な経験でした。



## 清水中学校

### 3年生保育所訪問～清水の子育てから学ぶ～

8月23日（月）、家庭科の授業の一環で保育所訪問を行いました。コロナ禍の中ですが関係者のご厚意で、感染対策の徹底と内容の簡素化、滞在時間の短縮を図った上で、2年ぶりの保育所訪問を実現しました。当日は、昨年開園し、令

和5年度から「認定子ども園」となるしみず保育所にお邪魔させていただきました。

木の温もりを感じる新しい設備、元気で可愛い子どもたち、子どもたちを我が子のように温かく保育する先生方の様子に、生徒もすっかり癒やされていました。かつてお世話になった先生との再会もあり、生徒はとてもよい表情で所内を見学していました。



「自分たちもきっとこんなに大切にされて保育してもらっていたんだな」とつぶやく生徒。例年とはちがう訪問の仕方になりましたが、子育て（支援）を大切にしている町の施政や、乳幼児期に注がれる愛情がいかに大切かを感じとっていたようです。

ところで見学中、エアコンの話題が。「今夏の猛暑、涼しくて助かりました」という所長さんのお話に、羨望の眼差しを向ける3年生。「ここは楽園だな」と思わず漏れ出る声に、うなずく引率者。

この後、3年生は清水学で人権や福祉について調査探究を進めていきます。今回の訪問で得た学びをつなげ、深め、自分の今後の生活の仕方、生き方を考えてほしいと思います。

たいへんお忙しい中、今回の受け入れに際し感染対策に心配られ、ご指導いただいたしみず保育所の皆様、関係各所の皆様にこの場をおかりして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



## 御影中学校

### HUGで防災を考える～1日防災学校より～

9月2日（木）、「1日防災学校」の一環として、第2学年の生徒がHUG（避難所運営ゲーム）に取り組みました。

本校では毎年2学年で行っており、本年度は清水町役場総務課の山田参事を講師にお迎えして実施しました。

清水町は、平成28年8月末の豪雨で、複数の川の氾濫により甚大な被害をも



たりました。そんな状況を思い描きながら、災害が起こったとき、中学校に避難所を開設しなければならないとしたら、どんな運営をしていけばよいのか。

このコロナ禍でも、災害は待つてはくれません。様々な事情をかかえた避難者のカードを、体育館や教室などの図面に配置すること、起こりう

る状況のカードを引いて対応を考えること等、避難所での色々な出来事を模擬体験するゲームに真剣に取り組みました。

大きな災害では「住民による適切な避難行動」と「適切な避難所運営」が大切になります。いざという時が万が一来たら、避難所運営のお手伝いなど自分たちにやれることは何かを考え、行動できると良いですね。

